

## 参考資料

2023.03.07

東京都議会第1回定例会 予算特別委員会

和泉なおみ都議(葛飾区選出)の代表総括質疑から



○和泉委員 我が党は独自に、取扱い厳重注意という前提で若洲ゴルフリンクスの利用実績、具体的には、令和二年度には山崎区長が十五回、三年度には十四回のプレーをしていたという口利きの実態があること、そして、その改善策として、先着順による不公平感を解消するため抽せん制に移行する、電話受付を廃止して、人を介する予約ができない新システムを導入するなど港湾局内部で検討されているとの証言を得ました。

武市副知事に伺います。都政の重要課題です。若洲ゴルフリンクスについて、江東区長ほか一部政治家への口利きの事実があることを把握していますか。その改善策として、港湾局が抽せん制への移行、新システムの導入などの検討を行っていることは把握していますか。武市副知事、いかがですか。

○武市副知事 ご指摘の点については承知はしておりませんが、都民の皆様から、利用が取りづらいと、そういう声が上がっているということは聞いておまして、その点について見直すべきだということについては、そういう議論をしているところでございます。

○和泉委員 若洲ゴルフリンクスを運営する埠頭株式会社には、特別に予約を受け付ける東京都OBの担当者が出て、利用あっせんの窓口になっていたと聞いています。それは事実ですか。

○矢岡港湾局長 そうしました事実は承知してございません。

若洲ゴルフリンクスは、従来から予約が取りにくい、電話が繋がらないという都民の声があることから、指定管理者に対しまして、既に予約システムの見直しを指示し、着手しているところでございます。

○和泉委員 港湾局内は改善策の一つとして、現在、予約業務を担っている埠頭株式会社の担当者を異動する体制の見直しも検討していると、こういう証言も得ています。

区長選挙直前の四月十一日には、江東区ゴルフ連盟の山崎会長杯という江東区長の名を冠したコンペが、八十名という大きな規模で若洲ゴルフリンクスを会場に行われます。このコンペの予約も優遇されたという情報があります。都立の施設として、公平、公正な運営に改めるべきことを厳しく求めておきます。

#### 4. 神宮外苑再開発について

続いて、神宮外苑再開発の問題について伺います。

神宮外苑再開発は、再開発中止を求める声、見直しを求める声が様々な分野から燎原の火のごとく広がっています。にもかかわらず、知事は二月十六日に再開発事業の施行認可を出しました。いかに知事が聞く耳を持たないかの証左だといわなければなりません。今からでも認可を取り消すべきです。その立場から質問します。

まず、知事に伺いますが、神宮外苑地区のスポーツクラスターとしての意義をお答えください。

○小池知事 都は、臨海、神宮外苑、武蔵野の森、駒沢、この四つの地区をスポーツクラスターと位置づけまして、スポーツイベントの開催などを通して、都民のスポーツへの関心の向上と地域や経済の活性化を図ることといたしております。

このうち、神宮外苑の地区につきましては、歴史と風格を継承しながら、地区一帯のまちづくりを通じて、にぎわいあふれる緑豊かなスポーツの拠点としてさらに発展させていく、このようなことといたしております。

○和泉委員 世界に誇れるスポーツ拠点を目指すための再開発だといわれました。スポーツ拠点としてさらなる発展を目指すともいわれました。けれども、それは都民向けの後づけの理屈にすぎません。

この再開発計画は、土地所有者の明治神宮や開発事業者の三井不動産などの思惑とともに、二〇一二年頃から、東京都の当時オリ・パラ担当だった佐藤広副知事と安井技監らが森喜朗元首相と手を組んで開発計画の絵を描いて、都民に隠して進めたものです。その動機も目的も東京五輪を利用した利権のための再開発計画にほかなりません。

秩父宮ラグビー場について伺います。

今回の再開発で、秩父宮ラグビー場と神宮球場の場所が入れ替わるのはなぜですか。

○**福田都市整備局長** 日本スポーツ振興センター、JSCが所有しております秩父宮ラグビー場は、施設全般の老朽化が進んでおりまして、経年による劣化や耐震補強への対応、ユニバーサルデザインの導入などが課題とされております。

明治神宮が所有しております明治神宮野球場も竣工後九十五年余りが経過し、施設の老朽化が著しい上、競技環境、観戦環境ともに陳腐化が進んでおりますが、年間を通して数多くの試合や大会が実施されております。

このため、民間事業者は競技の継続性に配慮し、ラグビー場と野球場等の位置を入れ替えて連鎖的に建て替え、競技空間の拡張、ゆとりある観客席の確保、ユニバーサルデザインの導入など、世界に誇れる水準の競技環境、観戦環境を備えた施設として更新することとしております。

○**和泉委員** 公式には今の答弁のように説明されています。しかし、実際は違います。

お手元の資料（1）、これをご覧ください。

神宮外苑の再整備について

○日時 平成24年5月15日 13:30~13:45

○場所 衆議院第二議員会館 301号室

○先方 森喜朗衆議院議員

東京都：佐藤副知事 安井技監

〈佐藤〉・神宮外苑の再整備について、東京都として考えているイメージをご説明にあがった（別紙参照）。

【STEP1】

〈安井〉・ラグビーW杯・オリンピック開催の前後二段階で全体を再整備、新競技場の敷地、競技場周辺のバリアフリー化と都市計画公園の付け替えのために人工地盤を整備、サブトラックは競技場敷地の外、NAASH本部・日本青年館の移転先としてテニスコート（NAASH所有）を想定、スケジュール的に可能な範囲で駅からのアクセスを改善、再整備は二段階になるが都市計画変更に必要な調整は同時にスタート等について説明。

〈森〉・（澁ヶ丘アパートの）住民の移転は大丈夫か？

〈佐藤〉・（住民が入居した経緯、店舗の存在等を説明し）近くにある他の都住に移転してもらえるために国策として計画を進めていくことが必要。

〈森〉・日本青年館は気持ちよく協力してくれる。ここに（NAASH所有のテニスコートに）日体協も移転させるといい。どのくらいの規模が望むのか？

〈佐藤〉・隣接する明治公園も敷地に使い、（高さ等の）規制緩和が可能。

〈森〉・昨日、安藤（忠雄）さんと会った。国際コンペで世界に発信するのは良いけど、スケジュールが遅れるんじゃないの（と言っておいた）。彼を東京都に連れてきたのは石原さんだ。石原さんが（スケジュールを遅らせないように）彼に言わなくちゃ。

【STEP2】

〈安井〉・オリンピック終了後に第二段階の整備をスタート、第二球場跡地に恒久サブトラック、神宮球場とラグビー場の敷地の入れ替えの利点（明治神宮所有地の商業的な利用増進、両競技の中断を回避、ラグビー場の芝の養生）、青山通り沿道の民間再開発の動向、外苑前駅地下道の延長可能性等について説明。

〈森〉・佐藤さん、素晴らしい案じゃないか。長生きしないと、サブトラックもここがいい。（神宮球場とラグビー場の入れ替えについて）ラグビー場の芝もその通りだし、新競技場とサブトラックに近いほうがいい。港

- 区は喜ぶんじゃないかな。
- 〈佐藤〉・明治神宮の協力が必要。
- 〈森〉・相手が神様だから大変だな。絵画館はどうするの？
- 〈安井〉・銀杏並木からの眺めを含め絵画館周辺の景観は維持する。  
・外苑前駅からのアクセスを改善するためにはTEPIAの移転が必要。
- 〈佐藤〉・トレーニング・ジムがあるが（施設全体が）余り使われていない様子。
- 〈森〉・あれは昔、日本最初のボーリング場だったんだよ。若い頃は我々もここで練習した。どういう経緯で経産省に渡ったかわからない。NAASHは本部の一時移転先にTEPIAを考えていた。ラグビー協会も時々使うけど、あの場所に要らないな。  
・不吉なことを言うようで悪いけど、もしこっち（オリンピック招致）が×になったらどうする？
- 〈佐藤〉・神宮外苑全体の再整備は進める。
- 〈安井〉・都市計画変更の調整は全体の再整備を前提に進める。
- 〈森〉・すばらしいよ。あと15年は長生きしないと。

我が党が二〇一八年三月に情報公開請求して明らかにした文書です。今では都市整備局のウェブサイトで公開されています。

平成二十四年、二〇一二年の五月十五日、当時の佐藤副知事と安井技監が森喜朗氏を訪ねて、神宮外苑再開発の東京都が考えているイメージについて衆議院議員会館で説明した記録です。このとき既に神宮球場とラグビー場の敷地を入れ替える計画になっています。

安井技監は、その利点の筆頭に明治神宮所有地の商業的な利用増進を挙げています。それを聞いた森氏は、すばらしい案じゃないかと絶賛し、港区は喜ぶんじゃないかなと述べています。つまり、神宮球場が青山通り近くにあった方が、明治神宮にとっても、港区にとっても上がりがいいということです。ラグビーの聖地、秩父宮ラグビー場への敬意などみじんも感じることができません。

秩父宮ラグビー場は、ラグビー選手たちが数々の名試合を繰り広げ、ラグビーファンや関係者たちの感動の記憶が堆積し、思い出が語り継がれてきた場所です。ご存じのように、西の花園、東の秩父宮といわれる日本に二つしかないラグビー専用スタジアムです。

新しく建設されるラグビー場は、ラグビー専用スタジアムですか。

○福田都市整備局長 ご答弁の前に、お配りいただきました今のご説明ありましたけれども、これにつきましては、商業的な利用増進、それから両競技の中断を回避、競技の継続性ということで、両競技の中断を回避というところが大きかったと思います。

これにつきましては、商業的な利用増進につきましては、来場者の多い野球場を青山通り近くに配置することによって、沿道の商業機能との連携も図られ、商業的な利用が増進されることを示しているのではないかと考えられます。

ラグビー場につきましては、日本スポーツ振興センターが策定した新秩父宮ラグビー場（仮称）基本計画では、我が国のラグビーを象徴するスタジアムとして、選手が最高の高揚感を感じ、観客はどこからでも見やすいなど、訪れた人々が一体感を感じるラグビー場を目指すこととされております。

さらに、ラグビーを主たる用途といたしますが、ラグビー以外のスポーツ競技や各種イベントでも使いやすい施設とし、神宮外苑地区のにぎわい創出に寄与することとされております。

○和泉委員 私、先ほど何ていったかという、その利点の筆頭に商業的な利用増進を挙げているというふうに入ったんです。確かに競技の継続性、このことにも書いてありますよ。けれども、そのことをもってしては、青山通りに移転して港区が喜ぶというところにつながらないんです。港区が喜ぶのは、神宮球場が青山

通り沿いに移転してくるからなんですよ。

ラグビー以外のスポーツや各種イベントでも使いやすい施設になる。つまり、ラグビー専用スタジアムではなくなるんです。それを象徴するのが屋根の問題です。建て替え後のラグビー場に屋根をつけるのは、ラグビー大会よりもイベントなどの利用を優先するためです。

私たちは、ラグビーの元日本代表選手だった平尾剛さんに話を聞きました。平尾氏は、ラグビーは青々とした芝生の上で、どんな天候にも対応できるようにプレーするのが基本だと。どのように天気を味方につけるかもラグビーの醍醐味だと熱く語ってくれました。

実際に、当初の計画では、ラグビー専用スタジアムとして屋根はありませんでした。これがその証拠です。ご覧ください。



新ラグビー場に屋根はありません。ところがその後、ラグビー協会から突如、全天候型という話が持ち出され、さらにラグビー専用スタジアムの言葉もなくなり、全天候型だけが残って屋根をつけることになりま

した。

メディアでは、ラグビー協会から全天候型という話を持ち出させるなどということができるのは、ラグビー協会に強い影響力を持つ森喜朗氏しかいないと報道されています。

ラグビー大会時の座席数が大幅に減らされたのも重大な問題です。秩父宮ラグビー場の座席数は、現在二万五千席です。建て替え後の収容人数は何人ですか。

○福田都市整備局長 日本スポーツ振興センターによりますと、新ラグビー場の収容人数は、誰もが不自由なく安全に利用しやすいユニバーサルデザインの導入や、国際大会などに求められる競技環境、観戦環境にふさわしい施設水準を踏まえ、PFI事業者の提案において、ラグビー大会時は約一万五千五百人、その他のイベント時は最大二万五千人と聞いております。

なお、全天候型になった経緯につきましては、令和二年九月、ラグビーフットボール協会から文部科学大臣に対し、スポーツ庁のスタジアム・アリーナ改革指針を踏まえて、多目的な用途が可能な全天候型施設とするよう要望があり、その後、スポーツ庁が開催するラグビーの振興に関する関係者会議において、全天候型のラグビー場の整備の方針が示されたと聞いております。

○和泉委員 この秩父宮ラグビー場をどのようなものにしようかという関係会議が開かれていたんです。最後までラグビー協会は専用スタジアムとすることにこだわっていました。けれども、ある時点から、結局、第三回の会議ではラグビー専用スタジアムという言葉が消えてしまうんです。

今、答弁にあったように、ラグビー専用スタジアムとして一番大事な、ラグビー大会時の収容人数は二万五千人から一万五千五百人に約一万席、何と四割も減らされます。花園ラグビー場の収容人数は二万七千人です。けれども、最初からこんな計画だったわけじゃないんです。

お手元の資料〔3〕、赤で下線を引いた部分をご覧ください。



### ラグビー場の整備に関する基本的な考え方

- ・ 東京都が「神宮外苑地区地区整備計画」（2011年11月策定）や「東京2020大会後の神宮外苑地区のまちづくり指針」（2018年11月策定）で掲げている、世界に誇れるスポーツクラスターの形成の実現に地権者の一人として協力すること。また、同指針に基づき、競技の継続に配慮した連鎖的な建替えを前提に、整備計画を策定する。
- ・ ラグビー場の歴史的背景を踏まえ、「秩父宮」の名称はそのまま引き継ぐこととする。また、「ラグビーの聖地」としてのレガシーを次世代に引き継ぐため、ラグビー専用スタジアムとして整備するものとする。その際、ラグビー競技を統括している（公財）日本ラグビーフットボール協会など施設利用者のニーズを十分踏まえながら整備計画を策定する。
- ・ スポーツ庁が示している『スタジアム・アリーナ改革指針』（平成28年11月）を踏まえ、ラグビー専用スタジアムとしての役割を維持しつつ、他の用途でも利用が可能な施設として、将来のランニングコスト等を賄えるような収益性に留意した整備計画を策定する。

以上

秩父宮ラグビー場を整備、運営する日本スポーツ振興センター、JSCは、二〇一九年四月時点では、ラグビーの聖地としてのレガシーを次世代に引き継ぐため、ラグビー専用スタジアムとして整備すると明記していました。そして、当初の計画では、現況どおり、座席数約二万五千席としていました。

ところが、その後再提出された計画で、店舗を入れ、巨大スクリーンも設置することになった結果、肝腎のラグビー大会では一万五千五百人の座席しか確保できなくなってしまったんです。

ラグビー元日本代表の平尾剛氏は、屋根がついたのも人工芝も多目的に使用するためであり、これはつまり収益を上げるためのものです。収容人数が激減したのも音楽イベントなどで使用する巨大スクリーンを立てるためで、徹頭徹尾、金のためです。ラグビーの試合を行うことが脇に追いやられており、ラグビーというスポーツの価値に何ら配慮していないと厳しく指摘しています。

知事、ラグビー元日本代表、この平尾剛さんの言葉をどう受け止めますか。知事、いかがですか。

○福田都市整備局長 日本スポーツ振興センターによりますと、この収容人数につきましては、誰もが不自由なく安全に利用しやすいユニバーサルデザインの導入、それから、国際大会などに求められる競技環境、

観戦環境にふさわしい施設水準を踏まえたものということでございます。

このJSCは、日本ラグビーフットボール協会との協議を踏まえ、JSCが策定した業務要求水準書の中で、スタンド席で一万五千四百二十二席以上、フィールドを利用したアリーナ席で五千席以上を収容できることが観客席の条件になったとJSCから聞いております。

○和泉委員 観客席の規模というのは、その時々試合、大会の規模、それから、それぞれの一つ一つの試合の規模、それによって観客収容人数が上下します。一万五千五百あれば国際大会が必ず開けるというものではないんです。おおよそ国際大会決勝戦は、この新ラグビー場では開けないということになりかねないんです。本来、スポーツの拠点にすると、ラグビーの聖地を守るというんだったら、国際大会の決勝戦ができるぐらいの規模をなぜ検討しなかったんでしょうか。

秩父宮ラグビー場は、戦後間もない頃、当時の関東ラグビー協会の会長や各大学のOBが私財をなげうって造ったスタジアムです。ある者は時計やカメラ、ある者は家のじゅうたんを売って、心のふるさとを築き上げようと建設資金に充てたことが、JSCのホームページにラグビー場の歴史として記されています。

再度、知事に伺います。先ほど、さらなるスポーツの拠点として発展させると、そうおっしゃいました。西の花園と並び、東のラグビーの聖地とされる秩父宮ラグビー場が、ラグビー専用スタジアムとはいえないものになってしまう。これで胸を張って、世界に誇れるスポーツ拠点の整備だなどといえますか。

先人たちの苦勞も含めて、ラグビーの聖地として受け継がれてきたその歴史まで根こそぎ壊してしまうような計画に痛みを感じませんか。知事、いかがですか。

○福田都市整備局長 ラグビー場につきましては、ラグビーを主たる用途とすることは全く変わっておりません。JSCが策定した新ラグビー場（仮称）基本計画では、新ラグビー場の四つのコンセプトの第一に、我が国のラグビーを象徴するスタジアムが掲げられておりまして、ラグビーの聖地として親しまれてきた歴史を次世代に継承し、ラグビーをプレーする人、見る人、支える人にとって快適な施設として、ラグビーの魅力を引き出すことができるスタジアムを目指すとしております。

また、併せて第二として、様々なシーンに対応できる誰もが心地よいスタジアムが掲げられておりまして、他のスポーツの競技や各種イベントなど様々な用途に対応が可能で機能的であり、かつユニバーサルデザインにも配慮するなど、誰もが使いやすい全天候型のスタジアムにするということで、スポーツクラスターの形成やにぎわいの創出に寄与することが示されております。

そうした将来像に向けて事業が進められているものと考えております。

○和泉委員 主たる用途がラグビーなのは当たり前じゃないですか。主たる用途からラグビーをやることが外れたら、もはやラグビー場といわないじゃないですか。何をいっているんですか。

先ほど局長は、ラグビーのよさを広く知ってもらうんだと、そのようにおっしゃいました。けれども、日本代表の平尾さんは、青空の下でやるからこそ、そして、どうやって天気を味方につけるか、それもラグビーの戦略の一つであり、醍醐味なんだと、そういうふうに語っていらっしゃるんです。間違いなく新ラグビー場では、このラグビーの醍醐味が失われてしまうということになるんじゃないでしょうか。

知事、もう一度伺います。このようなラグビー場に整備し直してしまう、徹頭徹尾、金のため、それでラグビーの聖地といえるのでしょうか。ラグビー専用スタジアムとして守ることが今求められているんじゃないですか。いかがですか。

○福田都市整備局長 新ラグビー場につきましては、基本的には、所有者であります日本スポーツ振興センターが、ラグビー協会などとも意見交換をしながら判断していくものと考えております。

○和泉委員 伺っているんですか。二〇一二年に東京都と森喜朗さんが、ここの再開発計画を持ち込んだんじゃないですか。何をいっているんですか。

秩父宮ラグビー場の整備運営事業者を選ぶ入札の結果も実に不可解なんです。昨年八月に事業者選定の結果が発表されました。入札結果の概要をパネルにしました。ご覧ください。お手元の資料では〔4〕です。

## 入札結果概要

入札参加者 (代表企業名 参加表明細)	技術評価点 (400点)	価格評価点 (100点)	総合評価点 (500点)	総合順位	入札金額(円) (税抜き)
楽天グループ 清水建設	277.43	56.66	334.09	2	22,574,436,000円
三菱地所 NTT	282.62	31.37	313.99	3	35,750,636,958円
鹿島建設 三井不動産	297.62	84.29	381.91	1	8,181,818,182円

JSC (日本スポーツ振興センター) NEWS RELEASE 2022年8月22日より作成

宮外苑代領

注目すべきは入札金額です。落札した鹿島建設、三井不動産グループが、ほかの二社より圧倒的に安い。その結果、技術点では三者の間にそれほど開きはないのに、価格点で大きな差をつけて落札しています。入札に敗れた事業者は、ここまで価格を抑えられるのか、悔しさを通り越して驚いたと語ったと報じられています。なぜ、このような低価格の入札ができたのでしょうか。

それには理由があります。落札した三井不動産は、ラグビー場整備の発注者であるJSC同様神宮外苑再開発の当事者で、この再開発で超高層の業務商業ビルを建てる計画です。

そこで伺います。神宮外苑再開発では、開発地区内で容積率の移転が行われます。新ラグビー場から容積の移転は行われますか。

○福田都市整備局長 神宮外苑地区では、まちづくり指針を踏まえ、都市計画法に基づく地区計画により、絵画館を望む眺望景観や風致の保全、中央広場周辺の広がりのある景観形成を図る観点から、イチョウ並木周辺や新野球場、新ラグビー場等の容積を低く抑える一方、青山通り沿道等については、にぎわいを形成するため容積率を高く設定するなど、地区内で容積率を適正に配分しております。





○和泉委員 我が党は独自に、取扱い厳重注意という前提で若洲ゴルフリンクスの利用実績、具体的には、令和二年度には山崎区長が十五回、三年度には十四回のプレーをしていたという口利きの実態があること、そして、その改善策として、先着順による不公平感を解消するため抽せん制に移行する、電話受付を廃止して、人を介する予約ができない新システムを導入するなど港湾局内部で検討されているとの証言を得ました。

武市副知事に伺います。都政の重要課題です。若洲ゴルフリンクスについて、江東区長ほか一部政治家への口利きの事実があることを把握していますか。その改善策として、港湾局が抽せん制への移行、新システムの導入などの検討を行っていることは把握していますか。武市副知事、いかがですか。

○武市副知事 ご指摘の点については承知はしておりませんが、都民の皆様から、利用が取りづらいと、そういう声が上がっているということは聞いておりまして、その点について見直すべきだということについては、そういう議論をしているところでございます。

○和泉委員 若洲ゴルフリンクスを運営する埠頭株式会社には、特別に予約を受け付ける東京都OBの担当者が出て、利用あっせんの窓口になっていたと聞いています。それは事実ですか。

○矢岡港湾局長 そうしました事実は承知してございません。

若洲ゴルフリンクスは、従来から予約が取りにくい、電話が繋がらないという都民の声があることから、指定管理者に対しまして、既に予約システムの見直しを指示し、着手しているところでございます。

○和泉委員 港湾局内は改善策の一つとして、現在、予約業務を担っている埠頭株式会社の担当者を異動する体制の見直しも検討していると、こういう証言も得ています。

区長選挙直前の四月十一日には、江東区ゴルフ連盟の山崎会長杯という江東区長の名を冠したコンペが、八十名という大きな規模で若洲ゴルフリンクスを会場に行われます。このコンペの予約も優遇されたという情報があります。都立の施設として、公平、公正な運営に改めるべきことを厳しく求めておきます。

#### 4. 神宮外苑再開発について

続いて、神宮外苑再開発の問題について伺います。

神宮外苑再開発は、再開発中止を求める声、見直しを求める声が様々な分野から燎原の火のごとく広がっています。にもかかわらず、知事は二月十六日に再開発事業の施行認可を出しました。いかに知事が聞く耳を持たないかの証左だといわなければなりません。今からでも認可を取り消すべきです。その立場から質問します。

まず、知事に伺いますが、神宮外苑地区のスポーツクラスターとしての意義をお答えください。

○小池知事 都は、臨海、神宮外苑、武蔵野の森、駒沢、この四つの地区をスポーツクラスターと位置づけて、スポーツイベントの開催などを通して、都民のスポーツへの関心の向上と地域や経済の活性化を図ることといたしております。

このうち、神宮外苑の地区につきましては、歴史と風格を継承しながら、地区一帯のまちづくりを通じて、にぎわいあふれる緑豊かなスポーツの拠点としてさらに発展させていく、このようなことといたしております。

○和泉委員 世界に誇れるスポーツ拠点を目指すための再開発だといわれました。スポーツ拠点としてさらなる発展を目指すともいわれました。けれども、それは都民向けの後づけの理屈にすぎません。

この再開発計画は、土地所有者の明治神宮や開発事業者の三井不動産などの思惑とともに、二〇一二年頃から、東京都の当時オリ・パラ担当だった佐藤広副知事と安井技監らが森喜朗元首相と手を組んで開発計画の絵を描いて、都民に隠して進めたものです。その動機も目的も東京五輪を利用した利権のための再開発計画にほかなりません。

秩父宮ラグビー場について伺います。

今回の再開発で、秩父宮ラグビー場と神宮球場の場所が入れ替わるのはなぜですか。

○**福田都市整備局長** 日本スポーツ振興センター、JSCが所有しております秩父宮ラグビー場は、施設全般の老朽化が進んでおりまして、経年による劣化や耐震補強への対応、ユニバーサルデザインの導入などが課題とされておりまして、

明治神宮が所有しております明治神宮野球場も竣工後九十五年余りが経過し、施設の老朽化が著しい上、競技環境、観戦環境ともに陳腐化が進んでおりますが、年間を通して数多くの試合や大会が実施されております。

このため、民間事業者は競技の継続性に配慮し、ラグビー場と野球場等の位置を入れ替えて連鎖的に建て替え、競技空間の拡張、ゆとりある観客席の確保、ユニバーサルデザインの導入など、世界に誇れる水準の競技環境、観戦環境を備えた施設として更新することとしております。

○**和泉委員** 公式には今の答弁のように説明されています。しかし、実際は違います。

お手元の資料〔1〕、これをご覧ください。

神宮外苑の再整備について

○日時 平成24年5月15日 13:30~13:45

○場所 衆議院第二議員会館 301号室

○先方 森喜朗衆議院議員

東京都 佐藤副知事 安井技監

〈佐藤〉・神宮外苑の再整備について、東京都として考えているイメージをご説明にあがった(別紙参照)。

【STEP1】

〈安井〉・ラグビーW杯・オリンピック開催の前後二段階で全体を再整備、新競技場の敷地、競技場周辺のバリアフリー化と都市計画公園の付け替えのために人工地盤を整備、サブトラックは競技場敷地の外、NAASH本部・日本青年館の移転先としてテニスコート(NAASH所有)を想定、スケジュール的に可能な範囲で駅からのアクセスを改善、再整備は二段階になるが都市計画変更に必要な調整は同時にスタート等について説明。

〈森〉・(澁ヶ丘アパートの)住民の移転は大丈夫か?

〈佐藤〉・(住民が入居した経緯、店舗の存在等を説明し)近くにある他の都住に移転してもらえるために国策として計画を進めていくことが必要。

〈森〉・日本青年館は気持ちよく協力してくれる。ここに(NAASH所有のテニスコートに)日体協も移転させるといい。どのくらいの規模が望むのか?

〈佐藤〉・隣接する明治公園も敷地に使い、(高さ等の)規制緩和が可能。

〈森〉・昨日、安藤(忠雄)さんと会った。国際コンペで世界に発信するのは良いけど、スケジュールが遅れるんじゃないの(と言っておいた)。彼を東京都に連れてきたのは石原さんだ。石原さんが(スケジュールを遅らせないように)彼に言わなくちゃ。

【STEP2】

〈安井〉・オリンピック終了後に第二段階の整備をスタート、第二球場跡地に恒久サブトラック、神宮球場とラグビー場の敷地の入れ替えの利点(明治神宮所有地の商業的な利用増進、両競技の中断を回避、ラグビー場の芝の養生)、青山通り沿道の民間再開発の動向、外苑前駅地下道の延長可能性等について説明。

〈森〉・佐藤さん、素晴らしい案じゃないか。長生きしないと、サブトラックもここがいい。(神宮球場とラグビー場の入れ替えについて)ラグビー場の芝もその通りだし、新競技場とサブトラックに近いほうがいい。港

区は喜ぶんじゃないかな。

〈佐藤〉・明治神宮の協力が必要。

〈森〉・相手が神様だから大変だな。絵画館はどうするの？

〈安井〉・銀杏並木からの眺めを含め絵画館周辺の景観は維持する。

・外苑前駅からのアクセスを改善するためには TEPIA の移転が必要。

〈佐藤〉・トレーニング・ジムがあるが（施設全体が）余り使われていない様子。

〈森〉・あれは昔、日本最初のボーリング場だったんだよ。若い頃は我々もここで練習した。どういう経緯で経産省に渡ったかわからない。NAASH は本部の一時移転先に TEPIA を考えていた。ラグビー協会も時々使うけど、あの場所に要らないな。

・不吉なことを言うようで悪いけど、もしこっち（オリンピック招致）が×になったらどうする？

〈佐藤〉・神宮外苑全体の再整備は進める。

〈安井〉・都市計画変更の調整は全体の再整備を前提に進める。

〈森〉・すばらしいよ。あと15年は長生きしないと。

我が党が二〇一八年三月に情報公開請求して明らかにした文書です。今では都市整備局のウェブサイトで公開されています。

平成二十四年、二〇一二年の五月十五日、当時の佐藤副知事と安井技監が森喜朗氏を訪ねて、神宮外苑再開発の東京都が考えているイメージについて衆議院議員会館で説明した記録です。このとき既に神宮球場とラグビー場の敷地を入れ替える計画になっています。

安井技監は、その利点の筆頭に明治神宮所有地の商業的な利用増進を挙げています。それを聞いた森氏は、すばらしい案じゃないかと絶賛し、港区は喜ぶんじゃないかなと述べています。つまり、神宮球場が青山通り近くにあった方が、明治神宮にとっても、港区にとっても上がりがいいということです。ラグビーの聖地、秩父宮ラグビー場への敬意などみじんも感じる事ができません。

秩父宮ラグビー場は、ラグビー選手たちが数々の名試合を繰り広げ、ラグビーファンや関係者たちの感動の記憶が堆積し、思い出が語り継がれてきた場所です。ご存じのように、西の花園、東の秩父宮といわれる日本に二つしかないラグビー専用スタジアムです。

新しく建設されるラグビー場は、ラグビー専用スタジアムですか。

○福田都市整備局長 ご答弁の前に、お配りいただきました今のご説明ありましたが、これにつきましては、商業的な利用増進、それから両競技の中断を回避、競技の継続性ということで、両競技の中断を回避というところが大きかったと思います。

これにつきましては、商業的な利用増進につきましては、来場者の多い野球場を青山通り近くに配置することによって、沿道の商業機能との連携も図られ、商業的な利用が増進されることを示しているのではないかと思います。

ラグビー場につきましては、日本スポーツ振興センターが策定した新秩父宮ラグビー場（仮称）基本計画では、我が国のラグビーを象徴するスタジアムとして、選手が最高の高揚感を感じ、観客はどこからでも見やすいなど、訪れた人々が一体感を感じるラグビー場を目指すこととされております。

さらに、ラグビーを主たる用途といたしますが、ラグビー以外のスポーツ競技や各種イベントでも使いやすい施設とし、神宮外苑地区のにぎわい創出に寄与することとされております。

○和泉委員 私、先ほど何ていったかという、その利点の筆頭に商業的な利用増進を挙げているというふうにいったんです。確かに競技の継続性、このことにも書いてありますよ。けれども、そのことをもってしては、青山通りに移転して港区が喜ぶということにつながらないんです。港区が喜ぶのは、神宮球場が青山



通り沿いに移転してくるからなんですよ。

ラグビー以外のスポーツや各種イベントでも使いやすい施設になる。つまり、ラグビー専用スタジアムではなくなるんです。それを象徴するのが屋根の問題です。建て替え後のラグビー場に屋根をつけるのは、ラグビー大会よりもイベントなどの利用を優先するためです。

私たちは、ラグビーの元日本代表選手だった平尾剛さんに話を聞きました。平尾氏は、ラグビーは青々とした芝生の上で、どんな天候にも対応できるようにプレーするのが基本だと。どのように天気を味方につけるかもラグビーの醍醐味だと熱く語ってくれました。

実際に、当初の計画では、ラグビー専用スタジアムとして屋根はありませんでした。これがその証拠です。ご覧ください。



新ラグビー場に屋根はありません。ところがその後、ラグビー協会から突如、全天候型という話が持ち出され、さらにラグビー専用スタジアムの言葉もなくなり、全天候型だけが残って屋根をつけることになりま

した。

メディアでは、ラグビー協会から全天候型という話を持ち出させるなどということができるのは、ラグビー協会に強い影響力を持つ森喜朗氏しかいないと報道されています。

ラグビー大会時の座席数が大幅に減らされたのも重大な問題です。秩父宮ラグビー場の座席数は、現在二万五千席です。建て替え後の収容人数は何人ですか。

○**福田都市整備局長** 日本スポーツ振興センターによりますと、新ラグビー場の収容人数は、誰もが不自由なく安全に利用しやすいユニバーサルデザインの導入や、国際大会などに求められる競技環境、観戦環境にふさわしい施設水準を踏まえ、PFI事業者の提案において、ラグビー大会時は約一万五千五百人、その他のイベント時は最大二万五百人と聞いております。

なお、全天候型になった経緯につきましては、令和二年九月、ラグビーフットボール協会から文部科学大臣に対し、スポーツ庁のスタジアム・アリーナ改革指針を踏まえて、多目的な用途が可能な全天候型施設とするよう要望があり、その後、スポーツ庁が開催するラグビーの振興に関する関係者会議において、全天候型のラグビー場の整備の方針が示されたと聞いております。

○**和泉委員** この秩父宮ラグビー場をどのようなものにしようかという関係会議が開かれていたんです。最後までラグビー協会は専用スタジアムとすることにこだわっていました。けれども、ある時点から、結局、第三回の会議ではラグビー専用スタジアムという言葉が消えてしまうんです。

今、答弁にあったように、ラグビー専用スタジアムとして一番大事な、ラグビー大会時の収容人数は二万五千人から一万五千五百人に約一万席、何と四割も減らされます。花園ラグビー場の収容人数は二万七千人です。けれども、最初からこんな計画だったわけじゃないんです。

お手元の資料〔3〕、赤で下線を引いた部分をご覧ください。



### ラグビー場の整備に関する基本的な考え方

- ・ 東京都が「神宮外苑地区地区整備計画」（2011年11月策定）や「東京2020大会後の神宮外苑地区のまちづくり指針」（2018年11月策定）で掲げている、世界に誇れるスポーツクラスターの形成の実現に地権者の一人として協力すること。また、同指針に基づき、競技の継続に配慮した連鎖的な建替えを前提に、整備計画を策定する。
- ・ ラグビー場の歴史的背景を踏まえ、「秩父宮」の名称はそのまま引き継ぐこととする。また、「ラグビーの聖地」としてのレガシーを次世代に引き継ぐため、ラグビー専用スタジアムとして整備するものとする。その際、ラグビー競技を統括している（公財）日本ラグビーフットボール協会など施設利用者のニーズを十分踏まえながら整備計画を策定する。
- ・ スポーツ庁が示している『スタジアム・アリーナ改革指針』（平成28年11月）を踏まえ、ラグビー専用スタジアムとしての役割を維持しつつ、他の用途でも利用が可能な施設として、将来のランニングコスト等を賄えるような収益性に留意した整備計画を策定する。

以上

秩父宮ラグビー場を整備、運営する日本スポーツ振興センター、JSCは、二〇一九年四月時点では、ラグビーの聖地としてのレガシーを次世代に引き継ぐため、ラグビー専用スタジアムとして整備すると明記していました。そして、当初の計画では、現況どおり、座席数約二万五千席としていました。

ところが、その後再提出された計画で、店舗を入れ、巨大スクリーンも設置することになった結果、肝腎のラグビー大会では一万五千五百人の座席しか確保できなくなってしまったんです。

ラグビー元日本代表の平尾剛氏は、屋根がついたのも人工芝も多目的に使用するためであり、これはつまり収益を上げるためのものです。収容人数が激減したのも音楽イベントなどで使用する巨大スクリーンを立てるためで、徹頭徹尾、金のためです。ラグビーの試合を行うことが脇に追いやられており、ラグビーというスポーツの価値に何ら配慮していないと厳しく指摘しています。

知事、ラグビー元日本代表、この平尾剛さんの言葉をどう受け止めますか。知事、いかがですか。

○福田都市整備局長 日本スポーツ振興センターによりますと、この収容人数につきましては、誰もが不自由なく安全に利用しやすいユニバーサルデザインの導入、それから、国際大会などに求められる競技環境、

観戦環境にふさわしい施設水準を踏まえたものということでございます。

このJSCは、日本ラグビーフットボール協会との協議を踏まえ、JSCが策定した業務要求水準書の中で、スタンド席で一万五千四百二十二席以上、フィールドを利用したアリーナ席で五千席以上を収容できることが観客席の条件になったとJSCから聞いております。

○和泉委員 観客席の規模というのは、その時々試合、大会の規模、それから、それぞれの一つ一つの試合の規模、それによって観客収容人数が上下します。一万五千五百あれば国際大会が必ず開けるというものではないんです。おおよそ国際大会決勝戦は、この新ラグビー場では開けないということになりかねないんです。本来、スポーツの拠点にすると、ラグビーの聖地を守るというんだったら、国際大会の決勝戦ができるぐらいの規模をなぜ検討しなかったんでしょうか。

秩父宮ラグビー場は、戦後間もない頃、当時の関東ラグビー協会の会長や各大学のOBが私財をなげうって造ったスタジアムです。ある者は時計やカメラ、ある者は家のじゅうたんを売って、心のふるさとを築き上げようと建設資金に充てたことが、JSCのホームページにラグビー場の歴史として記されています。

再度、知事に伺います。先ほど、さらなるスポーツの拠点として発展させると、そうおっしゃいました。西の花園と並び、東のラグビーの聖地とされる秩父宮ラグビー場が、ラグビー専用スタジアムとはいえないものになってしまう。これで胸を張って、世界に誇れるスポーツ拠点の整備だなどといえますか。

先人たちの苦勞も含めて、ラグビーの聖地として受け継がれてきたその歴史まで根こそぎ壊してしまうような計画に痛みを感じませんか。知事、いかがですか。

○福田都市整備局長 ラグビー場につきましては、ラグビーを主たる用途とすることは全く変わっておりません。JSCが策定した新ラグビー場（仮称）基本計画では、新ラグビー場の四つのコンセプトの第一に、我が国のラグビーを象徴するスタジアムが掲げられておりまして、ラグビーの聖地として親しまれてきた歴史を次世代に継承し、ラグビーをプレーする人、見る人、支える人にとって快適な施設として、ラグビーの魅力を引き出すことができるスタジアムを目指すとしております。

また、併せて第二として、様々なシーンに対応できる誰もが心地よいスタジアムが掲げられておりまして、他のスポーツの競技や各種イベントなど様々な用途に対応が可能で機能的であり、かつユニバーサルデザインにも配慮するなど、誰もが使いやすい全天候型のスタジアムにするということで、スポーツクラスターの形成やにぎわいの創出に寄与することが示されております。

そうした将来像に向けて事業が進められているものと考えております。

○和泉委員 主たる用途がラグビーなのは当たり前じゃないですか。主たる用途からラグビーをやることが外れたら、もはやラグビー場といわないじゃないですか。何をいっているんですか。

先ほど局長は、ラグビーのよさを広く知ってもらうんだと、そのようにおっしゃいました。けれども、日本代表の平尾さんは、青空の下でやるからこそ、そして、どうやって天気を味方につけるか、それもラグビーの戦略の一つであり、醍醐味なんだと、そういうふうに語っていらっしゃるんです。間違いなく新ラグビー場では、このラグビーの醍醐味が失われてしまうということになるんじゃないでしょうか。

知事、もう一度伺います。このようなラグビー場に整備し直してしまう、徹頭徹尾、金のため、それでラグビーの聖地といえるのでしょうか。ラグビー専用スタジアムとして守ることが今求められているんじゃないですか。いかがですか。

○福田都市整備局長 新ラグビー場につきましては、基本的には、所有者であります日本スポーツ振興センターが、ラグビー協会などとも意見交換をしながら判断していくものと考えております。

○和泉委員 伺っているんですか。二〇一二年に東京都と森喜朗さんが、ここの再開発計画を持ち込んだんじゃないですか。何をいっているんですか。

秩父宮ラグビー場の整備運営事業者を選ぶ入札の結果も実に不可解なんです。昨年八月に事業者選定の結果が発表されました。入札結果の概要をパネルにしました。ご覧ください。お手元の資料では〔4〕です。

## 入札結果概要

入札参加者 (代表企業名 参加表明細)	技術評価点 (400点)	価格評価点 (100点)	総合評価点 (500点)	総合順位	入札金額(円) (税抜き)
楽天グループ 清水建設	277.43	56.66	334.09	2	22,574,436,000円
三菱地所 NTT	282.62	31.37	313.99	3	35,750,636,958円
鹿島建設 三井不動産	297.62	84.29	381.91	1	8,181,818,182円

JSC (日本スポーツ振興センター) NEWS RELEASE 2022年8月22日より作成

注目すべきは入札金額です。落札した鹿島建設、三井不動産グループが、ほかの二社より圧倒的に安い。その結果、技術点では三者の間にそれほど開きはないのに、価格点で大きな差をつけて落札しています。入札に敗れた事業者は、ここまで価格を抑えられるのか、悔しさを乗り越えて驚いたと語ったと報じられています。なぜ、このような低価格の入札ができたのでしょうか。

それには理由があります。落札した三井不動産は、ラグビー場整備の発注者であるJSC同様神宮外苑再開発の当事者で、この再開発で超高層の業務商業ビルを建てる計画です。

そこで伺います。神宮外苑再開発では、開発地区内で容積率の移転が行われます。新ラグビー場から容積の移転は行われますか。

○福田都市整備局長 神宮外苑地区では、まちづくり指針を踏まえ、都市計画法に基づく地区計画により、絵画館を望む眺望景観や風致の保全、中央広場周辺の広がりのある景観形成を図る観点から、イチョウ並木周辺や新野球場、新ラグビー場等の容積を低く抑える一方、青山通り沿道等については、にぎわいを形成するため容積率を高く設定するなど、地区内で容積率を適正に配分しております。



○和泉委員 長々と答弁されましたけど、私の質問に対するのは最後の一言だけいいんです。容積率移転されるんです。

ご答弁のように、新ラグビー場などから、容積率が三井不動産と、それから本社ビルを建て替える伊藤忠の方に配分されます。この容積率の移転で、三井不動産はより大きな建物を造ることができ、より大きな収益を得ることができるということになります。この恩恵を見込むことができるのは、三井不動産が参加するグループだけなんです。三井不動産は再開発事業者としての立場を最大限利用して、ほかの二つのグループには到底まねのできない破格の低価格で入札できた、そういうことじゃないんでしょうか。

発注者のJSCも、受注者の三井不動産も、同じ外苑再開発事業の施行者仲間です。知事、これでは、施行者仲間同士の出来レースの入札ではないかといわれても仕方ないんじゃないでしょうか。知事、どう思われますか。

○福田都市整備局長 今回の開発計画は、まちづくり指針で示した将来像の実現を図るため、公園まちづくり制度の適用により都市計画公園の区域を変更し、商業、業務、交流施設の整備等によるにぎわいの創出を図ることとしております。

また、地区計画によって絵画館を望む眺望景観や風致の保全、中央広場周辺の広がりのある景観形成を図る観点から、イチヨウ並木周辺や野球場、新ラグビー場等の容積を低く抑え、青山通り沿道等のにぎわいを形成するため容積率を高く設定するなど、地区内で容積率を適正に配分しているものでございます。

なお、再開発等促進区による容積率の適正配分は一般的な開発手法でございます。

また、入札結果のお話がありましたけれども、新ラグビー場のPFI事業者の選定については、JSCの責任でJSCが適切に対応すべきことと考えております。JSCによりますと、事業者公募に当たって、事業提案の検討に必要な情報は、入札説明書等により入札参加者に対してひとしく提示しているため、再開発事業の地権者等が入札参加することに問題はないとのことでございます。

○和泉委員 入札に参加することが可能だと、問題ないというご答弁でしたけれども、注目すべきはその価格なんです。なぜこれほどの差をつけて低い価格で入札をすることができたか、そこを私は伺っているんです。（福田都市整備局長発言を求む）聞いていませんよ、まだ何も。まだ聞いてないですよ。

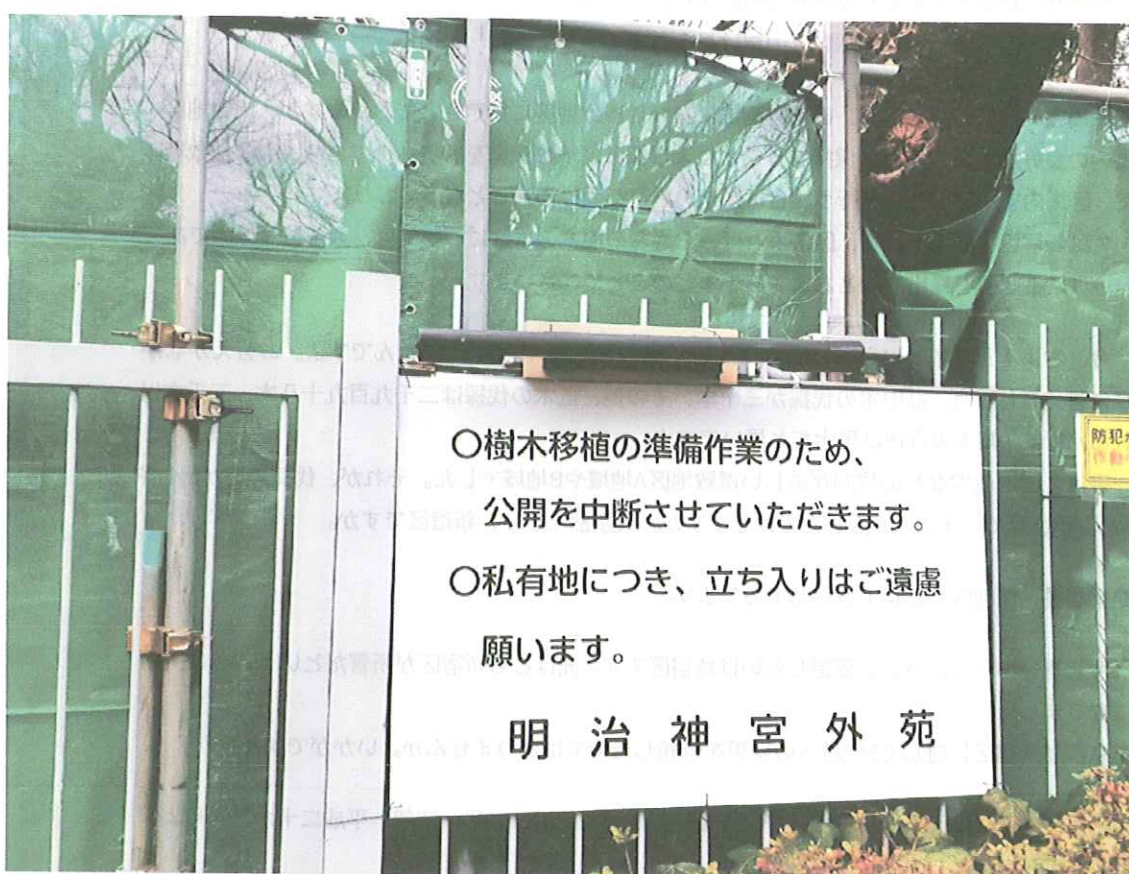
再開発の施行者である、事業者である、その立場を大いに利用して、このラグビー場の施設の整備、それから運営、そこを安く抑えることができたのではないですか、これができるのは、再開発そのものの事業者である三井不動産だからではないですか、その恩恵にあずかったからこそ、これほど低い価格で入札することができたのではありませんか、知事、どう思われますか、このように私、聞きました。知事いかがですか、答えていただけませんか。

○福田都市整備局長 入札金額については、私どもは答える立場にございません。評価する立場にもございません。

JSCによれば、入札参加者に対してひとしく提示しているため、入札参加に不平等が生じることはなく、問題ないということでございます。

○和泉委員 これだけいっても、この数字を見ておかしいと思わない方が不思議じゃないんでしょうかね。これ、民間がやることだから私たち関係ありません、JSCがやることです。けれども、神宮外苑は都市計画公園です。公の施設、公共性の高い事業ということになるんじゃないですか。

そこでの取引がこんな状態で行われている、そのことに対して何もいわない。適正性が疑われている、それなのに何もいえないという東京都の姿勢はあまりにも情けない。神宮外苑再開発ではイチヨウ並木の保全に関心が集まっていますが、新ラグビー場予定地に隣接する貴重な建国記念文庫の森、通称文庫の森の樹木も伐採されます。パネルをご覧ください。





鬱蒼とした風格のある、これが文庫の森です。次のパネル、これが今の現況です。樹木移植の準備のため、公開を中断させていただきますと書かれて閉鎖されました。

事業者が新宿区に申請した樹木の伐採数と内訳はどうなっていますか。

○**福田都市整備局長** 神宮外苑地区は、都市計画法に基づき風致地区に指定されておりますが、風致地区は、指定区域内の良好な自然的景観を保持することにより都市環境の保全を図るものであり、都の風致地区条例において、区域内で一定の行為を行う場合は区市の許可を受けることとなっております。

本件については新宿区の所管であり、区によれば、お尋ねの樹木の本数については、大部分が低木であり、面積をベースに推定値を算出するとおよそ三千本のことでございます。

○**和泉委員** 今、およそ三千本というふうにいわれましたけど、私、内訳も聞いたんですよ。お答えがなかった。代わりに答えましょう。高中木の伐採が三十本、その他、低木の伐採は二千九百九十八本、三千本以上が伐採されるんです。知事の責任は重大だと思いますよ。

文庫の森一帯は、樹木伐採などの規制が厳しい風致地区A地域やB地域でした。それが、伐採許可が出しやすいS地域へと変更されています。変更したのは誰ですか。東京都ですか、新宿区ですか。

○**福田都市整備局長** 新宿区において変更しております。

○**和泉委員** 今ご答弁あったように、変更したのは新宿区です。先ほども新宿区が所管だというふうに、局長、お答えになりました。

しかし、東京都が新宿区に対してS地域への変更を依頼したのではありませんか。いかがですか。

○**福田都市整備局長** 風致地区条例に基づく許可権限につきましては、二〇一四年、平成二十六年四月より、従来、都で許可していたものを、全て許可権限が区市に移譲されております。

都は、まちづくり指針に沿って、スポーツクラスターの形成等を推進するに当たり、風致地区の区域が複数の区にまたがっていることから、条例に基づく許可の審査に関する基準等の統一的な運用を図るため、地域区分のS地域への変更等を関係区に依頼したものでございます。

なお、このまちづくり指針は、有識者や地元新宿区等の関係者から成る検討会での検討を踏まえて策定したものでございます。

○**和泉委員** 新宿区が所管なんだと、三千本の伐採許可は新宿区がやったんだと、そういうふうにお答えになりましたけれども、今ご答弁にあったように、東京都が新宿区に対して伐採しやすいS地域への変更を依頼したんですよ。

少し字が小さいですけども、パネルを用意しました。



# 明治神宮内外苑 風致地区における 地域区分の変更について（依頼）

東京都整備局  
まちづくり推進担当部長  
吉野 敏



つきましては、明治神宮内外苑風致地区内の神宮外苑地区地区計画（再開発等促進区を定める地区計画）において、下記の経緯を踏まえ、地区計画の目標である「スポーツクラスター」の形成等の実現に向けた地区計画の変更（地区整備計画の追加等）を推進するため、貴区において地域区分の変更及びこれに伴う審査基準の変更に配慮をお願い申し上げます。

また、条例の所管である建設局とも協議した、地域区分及び審査基準の変更案を添付しますので、ご査収の程よろしくお願い致します。

### (3) 緑化基準Ⅱ+

#### ① 緑地率 15%とする。

#### ② 緑化基準Ⅱ+における特例

芝等地被植物のみが植栽される土地で、まとまった広場の空間（都市計画（再開発等促進区を定める地区計画等（以下同じ。））において、地区施設等として位置付けられたもの及びそれと一体的な空間）については、その面積に応じて、以下の表-1に示す係数を乗じて得た数値を緑地面積として算定することができるものとする。ただし、緑地面積の 2分の1を限度とする。

<表-1>

面積	1,000㎡以下	1,000㎡超	10,000㎡超	15,000㎡超
係数	0.3	0.4	0.5	0.6



お手元の資料では、〔5〕、〔6〕が該当します。二〇二〇年二月、都市整備局まちづくり推進担当部長名で新宿区に対し風致地区の地域区分の変更を依頼しています。伐採の規制を緩めるように誘導したのは、ほかならぬ東京都自身です。

拡大コピーしてありますが、S地域の規制内容を、再開発計画に合わせてさらに緩和することまで依頼しています。しかも、どう緩和するのか東京都が一言一句案を示して、そのとおりのものが今、新宿区のホームページに掲載されています。事実上、東京都の指示によって書き換えられたようなものです。

知事に伺います。東京都は、都民の誰も知らないところで法令に基づく基準を都合よく変更して、神宮外苑再開発を強引に進めています。知事、こんなことが許されるんですか。開発に合わせて都合よく変えてよいなら、基準や規制は一体何のためにあるんですか。知事の答弁を求めます。

○福田都市整備局長 都からの依頼につきましては、神宮外苑地区のまちづくり指針、有識者や地元新宿区等の関係者から成る検討会での検討を踏まえて策定したこのまちづくり指針に沿って、スポーツクラスター

の形成の推進を図るに当たって必要な手続等を依頼したものでございます。

この風致地区条例の中で規定された範囲内のできることを依頼したものでございます。

○和泉委員 風致地区条例の中でできる範囲のものとおっしゃいましたが、国立競技場を造るときに、S地域をS甲地域、S乙地域とわざわざ分けて、伐採しやすいように一このときにも基準緩和しているんです、今回さらに、それでも足りないということで、S丙地域なるものをわざわざつくって、そうして基準を緩めているんですよ。とんでもない話じゃないですか。

都市計画は百年の計といわれます。まさに神宮外苑は、先人たちが百年後、百五十年後の姿を描いて今日の私たちに残してくれた宝です。再開発計画の見直しを求めるオンライン署名は十一万八千人を超えています。「菊とバット」などの野球に関する著作も多いロバート・ホワイティングさんが呼びかけた神宮球場の現地でのリニューアルを求める署名には、一万七千人を超える方たちが賛同署名しています。

先ほど来、私が話に出しているラグビーの元日本代表選手、平尾剛さんも、ラグビー場の建て替えに反対するオンライン署名を立ち上げて、一か月で一万五千人を超える方たちが賛同署名しています。

南青山の幼稚園、小学校の保護者たちは、事業者が住民説明会を開催すること、イチヨウ並木を名勝指定することを求める陳情書を港区長らに提出しました。

また、イコモス日本委員会は、三井不動産などの事業者が環境影響審議会に提出をした評価書に、文庫の森の環境影響評価を含め、虚偽があると指摘しています。

神宮外苑は、渋沢栄一氏をはじめとする先人たちの努力でつくられ、百年の歴史を重ねてきました。小池知事は、その先人の努力も、百年の歴史も台なしにした知事として名を残すことになりかねません。本当にそれでいいんですか。神宮外苑再開発の施行認可を今ここで踏みとどまって取り消すことを、重ねて厳しく求めておきます。

## 5. 五輪について

次に、五輪の問題です。

神宮外苑再開発を進めた当時の佐藤広副知事は、その後、組織委員会の副事務総長を務め、現在、清算法人の四人の清算人の一人です。森喜朗元首相は、その後、組織委員会の会長を務めました。そして今、東京五輪をめぐる根の深い問題、負のレガシーが次々明らかになっています。

二月二十八日に公正取引委員会が、テストイベントに関して談合があったとして六社を告発し、地検が同日起訴しました。五輪をめぐる受託贈収賄に続いて、五輪やスポーツの価値をおとしめる重大なことだと思いますが、知事は、開催都市の長として、この事態をどう受け止め、どう対応しようとしているんでしょうか、伺います。

○小池知事 国際大会の開催には都民、国民の信頼が何よりも重要で、これらの事件はその信頼を損なうものでございます。

とりわけ談合事件でございますけれども、その重大性に鑑み、速やかに調査チームを設置、現在、外部有識者の下で調査を進めているところでございます。

また、組織委員会元理事の事件につきましては、公判により事実関係が明らかになると、このように考えております。

なお、今後の国際大会に向けましては、有識者会議で議論をいただきまして、ガイドラインとして既に公表しております。

○和泉委員 事実を明らかにするために、都は積極的に役割を果たす必要があるというふうに思いますが、知事、いかがですか。

○中村政策企画局長 国際大会には都民、国民の信頼が重要でございます。

都は、地検、公取委の捜査がございました清算法人に対しまして、捜査への全面的な協力を求めてまいりました。

また、都としても速やかに調査チームを立ち上げまして、現在、外部有識者の専門的な見地から調査を進めており、都としても有識者をサポートしているところでございます。